

令和5年度 第5回行政会議 会議録

日 時	令和5年8月1日（火）午前9時15分～
場 所	行政会議室
出 席 者	別添「令和5年度第5回行政会議名簿」のとおり

挨拶	瀬野市長
内 容	<p>8月1日付けで、須田 弘樹氏が副市長に就任された。後ほど、須田副市長にご挨拶いただく。</p> <p>本日は、所信表明で述べた（仮称）「守口市行政経営プラン」の策定に向けた進め方について、企画財政部から説明がある。全庁的な議論を経て、策定に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>8月に入り、危険な暑さと言われるような暑い日が続いている。夏季休暇は計画的に取得し、ワークライフバランスを大切に、リフレッシュして業務を進めてほしい。</p> <p>最近クラブ活動終了後の学生が、熱中症で帰宅途中に倒れ、亡くなるという痛ましい事件があった。学校現場でも、熱中症対策に万全を期するよう伝えること</p> <p>また、明日からは、交流事業のために子ども達が高知県東洋町に、8月末には和歌山県かつらぎ町に、約3年ぶりに行くという。全国的に水難事故が絶えないため、水遊びを楽しむ際は、現場で細心の注意を払うこと。</p>

挨拶	須田副市長
内 容	<p>守口市は子育て支援や行財政改革に力を入れていると市長から聞いており、進んでいると認識している。そういった良い面を伸ばしながら、例えば、行政のDX推進や公民連携、また魅力発信施策にも注力していきたい。</p> <p>市長も1期目で、模索しながら市政運営を行われていると思うが、我々は市長に耳ざわりの良いことばかりでなく、時には耳の痛いことも伝えていかないといけないと考えている。</p> <p>私は、大阪府庁からの派遣で就任したが、「お客さん」でいるつもりはない。皆さんもそのつもりで対応してほしい。</p> <p>1日も早く皆さんの力になり、瀬野市長を支えられるように、また、守口市がこれまで以上に市民の皆さんから愛される、魅力あるまちにしていきたいと考えている。</p>

【案件】

案 件	(仮称) 守口市行政経営プランの策定について
説 明 者	尾崎企画財政部長
提出資料	有
内 容	<p>(瀬野市長)</p> <p>平成 23 年に最初の「もりぐち改革ビジョン」(案) を策定し、私も西端前市長のもと、策定に携わらせていただいた。窓口業務等の民間委託や人員削減等、全庁的な議論を行った記憶がある。</p> <p>今後も金が潤沢にあるわけではないが、人員や補助金の削減という量的な削減、改革には限界があると考えます。だからこそ、手法を変え、公民連携や行政のデジタル化、自治体間連携を更に進める等、市が持つ人やモノ、活用できる資源を最大限活用し、市民サービスを向上させるという経営の視点をより強く意識したプランを策定したい。</p> <p>取り纏めは企画財政部とするが、組織として全庁一丸となって議論し、所属長だけでなく、若い職員を含め、各部局の 1 人ひとりが行政経営プランの策定、改革に邁進してほしい。</p> <p>(尾崎企画財政部長)</p> <p>策定の趣旨は、市長からのご発言のとおり。</p> <p>計画期間は、令和 8 年度までの 4 年間。</p> <p>今後の進め方は、策定にあたり、現行の改革ビジョンの取組状況を踏まえるとともに、事務事業の総点検を行う。開かれた市政運営、DX 推進、公民連携、自治体間連携、民間委託の視点から行財政改革を検討し、また、施策の優先順位の観点から施設の見直しや事務事業の廃止を検討する。</p> <p>合わせて、新たな施策の創造として、未来への投資促進や健康寿命の延伸をはじめとする施策についても、優先順位を意識しつつ、今後の取組を記載することとする。</p> <p>各部局長は、この趣旨を踏まえ、積極的に施策の総点検とプラン策定にあたっての検討をお願いする。</p> <p>策定スケジュールは、8 月から 10 月までを総点検及び各部局のヒアリング期間とし、9 月以降に策定作業を行う。12 月上旬にはプラン(案) を取り纏め、パブリックコメントを実施した上で、現時点では 1 月下旬の策定予定としている。</p> <p>次に、第 3 次もりぐち改革ビジョン(案) の取組状況の資料について、新たなプラン策定にあたり、現時点までの達成状況を取り纏めた。改革ビジョンに基づく取組は、各部局で積極的に取り組んでいただいております。全 77 項目中、達成が 49 項目、達成見込が 11 項目、未達成が 17 項目。新たなプランに記載する項目は、更なる行財政改革の推進と</p>

	新たな施策創造に向け、改革ビジョンの達成状況も踏まえ、検討をお願いします。
質 疑 等	<p>(長田理事兼都市整備部長事務取扱兼学校施設整備監) 新たな政策創造についても、事務事業の総点検の中で検討することになるか。</p> <p>(尾崎企画財政部長) 新たな施策については、各部局ヒアリングでの議論とともに、別途の検討も必要と考える。詳細は追って連絡する。</p>

【報告】

報 告	守口市旧徳永家活用事業について
説 明 者	長田理事兼都市整備部長事務取扱兼学校施設整備監
提出資料	有
内 容	<p>旧徳永家住宅の活用事業者について公募を行ったところ、1社から応募があり、外部委員を含めて提案内容を審査した結果、妥当として事業者を決定。</p> <p>レストラン経営等が行われる予定。</p>
質 疑 等	<p>(瀬野市長) 今後は、どのように進める予定か。</p> <p>(長田理事兼都市整備部長事務取扱兼学校施設整備監) まず、本報告内容を市議会に説明。事業者とは、施設の整備手法等の詳細について協議を進める。</p>

報 告	守口市地域公共交通の方向性について
説 明 者	長田理事兼都市整備部長事務取扱兼学校施設整備監
提出資料	有
内 容	<p>地域公共交通のあり方については、令和2年度から議論を重ねてきた。公共交通ネットワークの現況について、明確な定義はないが、鉄道駅から800m、バス停から300mを基準に、その範囲に該当しない地域を「交通不便地」としてカバー率を分析したところ、約91.2%はカバーされており、交通利便性は他市に比べ、非常に高いという結果が出ている。</p> <p>また、アンケート調査を実施したところ、本市の特徴として、自転車の保有率が全国平均54%に比べ、81.5%と極めて高い状況。平坦ということもあり、交通手段として、徒歩や自転車で87.7%の方が利用している。一方、路線バス利用者は通院で3%、日用品の買物で0.3%に留まっている。</p> <p>公共交通の水準の評価についても、数値が高い。</p> <p>今後の方向性として、コミュニティバス「愛のみのり号」のあり方</p>

	<p>について、運行の本数や集約、路線の見直し等を含め、議論を行っていきたいと考えている。また、現在はシェアサイクルの実証実験を行っており、拡大も検討している。その他、高齢者、障がい者に的を絞った福祉施策としてのあり方については、健康福祉部局と連携し、検討する必要がある。</p> <p>民間の路線バスやタクシー事業者との間で設置している協議の場においては、今後も継続して協議を行う。</p> <p>本報告内容について、今後、市議会に説明する予定。</p>
質 疑 等	<p>(瀬野市長)</p> <p>コミュニティバスについては、利用者が少ない中、あり方の議論が必要。</p>

報 告	菊水公園のオープンについて
説 明 者	長田理事兼都市整備部長事務取扱兼学校施設整備監
提出資料	有
内 容	菊水公園が、7月27日から供用を開始。今はまだ暑い中であるが、今後、多くの皆さんに利用いただきたい。

【その他】

そ の 他	—
説 明 者	尾崎企画財政部長
提出資料	無
内 容	<p>起案文書については、企画財政部内でも起案や各部局からの合議の際にしっかり確認するよう伝えているが、合議で回ってくる文書において、担当課室の主任、課長代理、所属長、部局長がそれぞれ確認済であるにもかかわらず、日付等の内容が誤っている文書が見受けられる。文書作成や確認の際は、改めて基本的な部分を認識し、事務の適正化をお願いする。</p>